

- 人口減少や少子高齢化によって公共交通の利用者が減少しており、路線の存続が重要な課題となっている。多可町は買い物や通院、通学を隣接市である西脇市に依存しており、双方の自治体が協力して公共交通を維持している状況である。
- そこで、利便増進事業として両市町を結ぶ動脈路線の再編や、交通結節点の待合環境の整備など利用者の増加を図り、持続可能な公共交通とすることを目指す。

事業の内容

①加美中線の路線分割・八千代地区の路線新設

乗り継ぎ利用や主要な目的地への移動を中心に、利便性を高めるために路線を再編する。交通拠点と交通結節点との連携を強化し、バス路線の起終点を調整する。

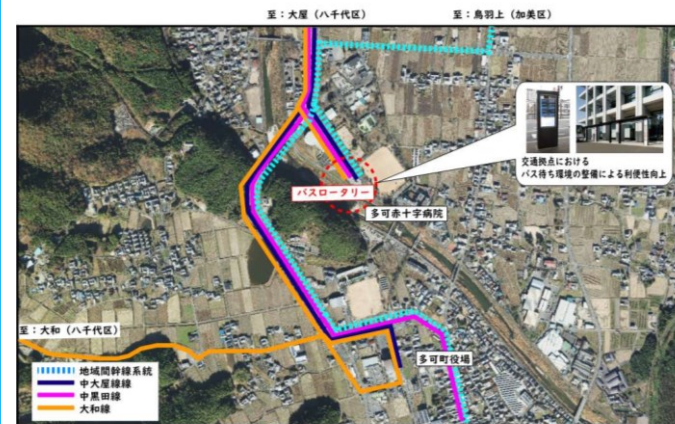
動脈路線を補完するバス路線を新設し、交通拠点と交通結節点を結ぶ。

②交通拠点と交通結節点等における待合環境等を整備

交通拠点、交通結節点等において次の事業を実施する。

- ・バスロータリー、上屋、待合所の整備等による待合環境の整備
- ・デジタルサイネージ設置によるわかりやすい情報の提供

※事業実施に当たり社会資本整備総合交付金（地域公共交通再構築）を活用予定。



▲交通拠点の再編イメージ

事業の効果

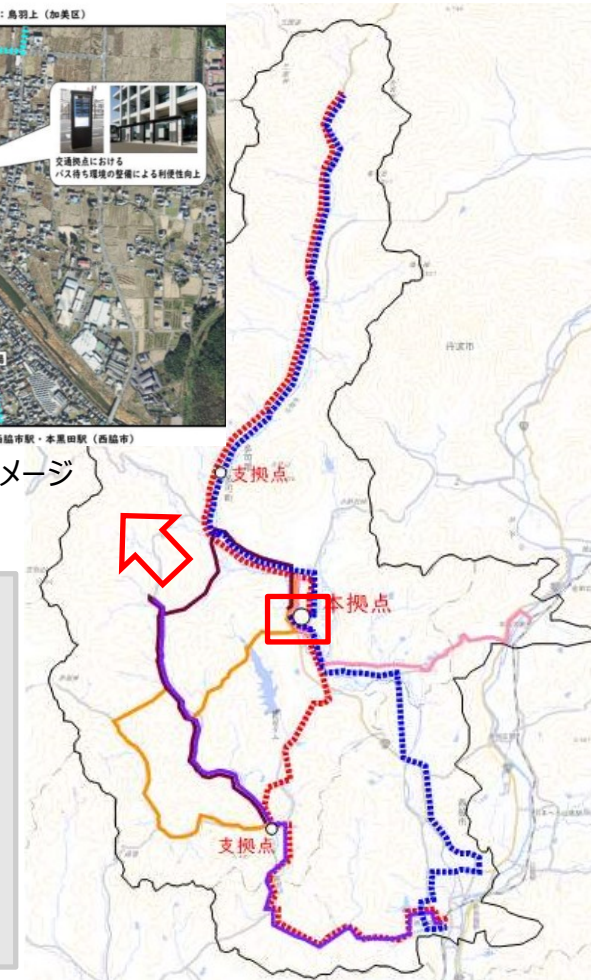
・所要時間の短縮等における利用者利便性の向上

主要なバス路線との接続性向上が図られることで、利便性の高い公共交通ネットワークの構築が図られ、公共交通の利用促進に繋がる。

・交通結節点における利用者利便性の向上

複数の路線が接続する交通結節点において、多方面へのバスが乗り入れるターミナルを整備することにより他路線への接続機会を増やすことに繋がる。また、デジタルサイネージを設置することでわかりやすいバスの運行情報や観光情報等の発信を行うことにより、公共交通の利用促進に繋がる。

- ・作成自治体
兵庫県多可町
西脇市
- ・事業実施区域
多可町全域
西脇市の一部
- ・事業実施予定期間
R7.4～R11.3



▲路線再編後の全体イメージ